

東邦大学医療センター大森病院様のケース



薬剤部
横山 拓生先生



MONITAROで、製薬企業の担当者情報を一元管理出来るようになりました。

訪問目的の入力は必須

MONITAROでは医師とのアポイントをMRが「自己申告」できる機能があり、ここでルールに則った訪問をしているか薬剤部として把握しています。特にコロナの時期は本当に必要な面談なのか確認できて助かりました。**アポイントの自己申告制は医師の操作を必要としないこともメリットです。**

訪問履歴をMONITAROで管理

MRは薬剤部に設置したMONITAROでチェックインしてから医師との面談に向かいます。出入時刻の画面では、**訪問許可証の番号、行き先、目的、アポの有無も合わせて表示される**ので便利です。許可証を紛失した際は該当者に速やかに連絡することができます。

MRの担当領域が分かる

MONITAROでは**担当領域や担当医薬品名が表示される**ため、メーカー担当者が複数名いる場合にも、目的のMRに直接連絡を取ることができます。以前は名刺に担当領域を記載していましたが、今では業務効率が改善しました。担当者の引き継ぎ時の申し送りも問題なく、**MONITAROに登録しないMRは出てきていません。**